令和7年度 避難所等の応急危険度判定に関する防災訓練実施計画書

(静岡市 建築総務課)

1 目 的

令和7年度地域防災訓練に合わせ、大規模地震発生時を想定し、事前割当応急 危険度判定士(以下、「判定士」という。)の参集訓練及び模擬判定訓練を行い、避 難所等の応急危険度判定における事前割当方式の体制について実効性を確認す ることを目的とする。

2 訓練想定

令和7年12月7日(日)※ 早朝に南海トラフ巨大地震が発生し、市内で最大震度7を観測した。避難所等の開設のため、直ちに応急危険度判定を開始する必要がある。 なお、今回の訓練では津波の発生は想定しない。

(※日付は各地区の訓練日による)

3 実施日時・参集場所

訓練の詳細資料(集合時間、場所等)を市HPに掲載(11月下旬ごろ)

- 4 訓練参加者 事前割当応急危険度判定士
- 5 訓練内容(手順の詳細は、裏面をご覧ください。)
 - 事前割当された地区支部へ参集する。
 - ② 判定士、地区支部員(市職員)及び自治会の方々と顔合せをする。
 - ③ 防災倉庫から判定用リュックを取り出し、資器材及び資料を確認する。
 - ④「SUNPUシステム連絡票(判定開始)」の内容及び使い方を確認する。
 - ⑤ 判定対象建物(1棟)について模擬的に応急危険度判定を行う。
 - ※今回の訓練は判定技術向上を主目的としていないため、調査表の調査項目を確認する程度の簡易的な模擬判定として経験してください。(同封の調査票に記入例を参考にして記入する程度)⇒使用後は、各自処分してください。
 - ⑥ 判定ステッカー(赤、黄、緑)を確認する。
 - ⑦「SUNPUシステム連絡票(判定結果)」の内容及び使い方を確認する。
 - ⑧ 判定用リュックを防災倉庫に返却する。
 - ⑨ 訓練終了の報告後、解散する。

6 訓練当日連絡先

静岡市 建築総務課 総務·耐震係 電話 054-221-1050

7 中止の連絡

地域防災訓練の中止は、各地区支部長により判断されます。

中止の際は、建築総務課から事前割合判定士へ連絡致します。

(連絡順序) 各地区支部長 ▶ 建築総務課 ▶ 事前割合判定士

判定訓練の手順

- ※今回の判定訓練には、各地区支部(市内約70ヶ所)でほぼ同時に実施するため、建築総務課の職員は、現地で立ち会うことができません。恐れ入りますが、下記の手順をもとに、判定士のみなさまで訓練を実施していただきますようお願いいたします。
 - なお、地区支部長(市の職員)には、地域防災訓練に合わせて応急危険度判定士が参集し、顔合わせ後、判定訓練を実施することを連絡しております。
- ※訓練当日、建築総務課の職員は、静岡庁舎の建築総務課の執務室内にて待機しております。ご不明な点等ございましたらご連絡ください。
 - 《建築総務課 電話番号:054-221-1050》

	手順	内容
		・各地区支部の参集場所(通知文に記載)へ参集し、判定士同士、地
		区支部員(市職員)及び訓練に参加している市民(自治会の方
		等)の皆さんと自己紹介等の顔合せを行ってください。
		・地区支部員に、『地区支部員室の場所』及び『この後の訓練場所
1	参集場所へ参	(居場所)又は訓練終了時の連絡方法』の確認をしてください。
'	集	(訓練終了時に連絡するため)
		・地区支部員に、防災倉庫の鍵が開いているか確認してください。
		(開いていない場合は、防災倉庫まで同行してもらい開錠を依
		頼してください。)
		※地区支部長には事前に依頼済みです。
	~ 5	こからは地区支部員及び自治会の方等と別行動 ~
		・防災倉庫内にある判定用リュックを取り出し、中身及びリュックに
2	判定用リュッ クの中身の確	付いている札の内容を確認してください。
_	プの中身の唯 認	・特に、ファイルに入っている資料の確認をお願いします。訓練で
	司心	は、ファイル内の資料は使用せず、確認のみとしてください。
		・リュック内のファイルに入っている「SUNPU システム連絡票(判
		定開始)」及び「応急危険度判定用ポスト(連絡用ケース)」の内容
	SUNPUシス	及び使い方を確認 してください。
3	テム連絡票	・訓練では、この案内通知に同封の「訓練用 SUNPU システム連絡
)	(判定開始)の	票(判定開始)」に記入してください。
	確認	・実際に地区支部員室に行き、訓練では、職員がいない場合を想定
		して、「応急危険度判定用ポスト」の貼り付け場所の確認をしてく
		ださい。(訓練では貼付はしないでください。)
4	模擬判定の実	・対象建物(1棟)について模擬的な応急危険度判定を実施してく
4	施	ださい。

		・訓練では、同封の訓練用調査表を使用し、調査項目を確認しなが
		ら、建物の外側を一周して調査済(緑)と判定するまでの流れを
		確認してみてください。
		・実際の災害時は外観及び内部の調査を行うこととなりますが、訓
		練では、外観のみの調査 とします。
		・実際の災害時は、判定後、判定結果のステッカーを建物に貼付し
		ますので、緑、黄、赤のステッカーの内容及び貼付場所を確認し
_	判定ステッカー	てください。(訓練では貼付しないでください。)
5	の確認	※実際の災害時は、地区支部員や施設管理者がいる場合は、判定
		内容の簡単な説明をお願いいたします。(特に、判定結果が「要
		注意(黄)」の場合)
		・リュック内のファイルに入っている「SUNPU システム連絡票(判
	CLINIDLIS.7	定結果)」の内容を確認 してください。
	SUNPUシス	・訓練では、同封の「訓練用 SUNPU システム連絡票(判定結果)」
6	テム連絡票	に記入してください。
	(判定結果)の 確認	※実際の災害時は、判定活動を終了するとき(調査日ごと。棟ごと
		ではありません。)地区支部員室へ戻り、地区支部員へ連絡票を
		渡してください。
7	判定用リュッ	・判定用リュックを防災倉庫内の元あった場所へ、静岡市のマーク
/	クの返却	及び札が見えるように返却してください。
		・訓練が終了しましたら、お手数ですが、地区支部員及び建築総務
		課の 両方に連絡 をお願いします。
		・地区支部員:直接又は電話(顔合わせ時に確認)で訓練終了を連
	訓練終了	絡し、防災倉庫の鍵を閉めるようお伝えください。
		・建築総務課:次のURL、QRコード又は電話から連絡をお願いし
		ます。
8		https://logoform.jp/f/0oXmr
0	報告	
		(83 <i>6</i> %a8%
		语音论领领国委
		FE125.4 34-00
		電話:054-221-1050
9	解散	・上記連絡が終了しましたら、解散してください。

◆ 持ち物

- 筆記用具
- ・携帯電話、スマートフォン(お持ちでない方は結構です)
- ヘルメット(お持ちでない方は結構です)
- 応急危険度判定士登録証
- ・応急危険度判定士手帳(お手元にない方は結構です)
- 別紙2 防災訓練実施計画書(本資料)
- ※判定用資機材の持参は不要です。

◆その他

- ①訓練会場には、駐車場がありません。公共交通機関をご利用いただくか、自転車、バイク又は徒歩でお越しください。(自転車、バイクを止めることは可能です。)
- ②地区支部により異なりますが、同日に開催される地域防災訓練には、地区支部員(市職員)及び自主防災会等が参加します。当日は、判定士同士だけでなく、地区支部員や地域の方との顔合せも予定しています。
- ③発熱や咳などの風邪の症状がある方、体調の思わしくない方は、訓練の参加を控えていただくようお願いします。 急な不参加の場合は、下記連絡先までご連絡ください。
- ④次の場合は、訓練を中止します。
- ・南海トラフ地震に関連する情報が発表された場合
- 市内で震度4以上の揺れが観測された場合
- ・市内に特別警報、気象に関する警報、津波警報・注意報が発 表された場合
- その他、中止する必要があると判断される事象が生じた場合

◆ 連絡先

静岡市 都市局 建築部 建築総務課

総務・耐震係 渡邊・山脇・川崎

TEL: 054-221-1050 FAX: 054-221-1135

E-mail: kenchikusoumu@city.shizuoka.lg.jp

【訓練用】	記入例を参考に実際に記]入する練習を	してください。
	こうしょう コレスかにこ		

節	及び鉄骨鉄筋	コンクリ	ノート造跡	建築物	等の応急危	<u> </u>	・ ・ 集計欄は数字で RC
里番	号	調査日時	月	日午前	前・午後	诗 調査回数回目	整理番号
者	氏名(都道府県/No)			(/)	
b 44	C 4/m 48II 235			(/)	建築物番号
	[物概要			1 1	7.33.55 H/m 3T. 12		建架初留与
	建 築 物 名 称						0.400
3	建築物所在地	サイ甫田仕る	2.長屋住年	_			住宅地図整理番号
J		€			9 病院・診療所		
	12.倉					6.その他(3
4	構造種別 1.鉄館				マストコンクリー	,- ,- ,	4
		骨鉄第一ング			5.混合構造() と ()	地上
5	階 数地上		下 階		V.18611 H. C.		地下
6	建築物規模 1階、		m × ⁴		m		7 m
_		_		/ /V	-		J 1
	調査方法:(1.外観				せて実施)	* (4 - 7) (6) A WII - 1	調査方法
l	一見して危険と判定る	される。(該	当する場合は(,
1.	建築物全体又は一部の	崩壊・落階		2.基磷	巻の著しい破壊、上	:部構造との著しいずれ	
3.	建築物全体又は一部の	著しい傾斜		4.70	 D他()	1
	隣接建築物・周辺地盤						
_	州安廷朱彻 问应地。	盆分次 0 1舟店	Aランタ	001700000000000000000000000000000000000	Bランク	Cランク	1
定	①損傷度Ⅲ以上の損傷部		1.無し	,	2.50		判定(1)
1)	の有無	. 1.3	1		2.477		1
		壁の破壊によ	1.危険無し		2.不明確	3.危険あり	2
:[]	③地盤破壊による建築 下	物全体の沈	1. 0.2m以下		2. 0.2m~1.0m	3. 1.0m超	3
_	④不同沈下による建築 斜	物全体の傾	1. 1/60以下		2. 1/60~1/30	3. 1/30超	4
Ē	柱の被害〔下記⑤⑥の調	査階(被害最	大の階)	<u>階</u> 〕(壁構造の場合は柱を	壁の長さに読みかえる)] 柱の被害最大の階
	⑤損傷度Ⅴの柱本数/	調査柱本数	損傷度Vの柱総	念数本	調査柱 本 ()	調査率%)]
			1. 1%以下		2. 1 %~10%	3. 10%超	<u> </u>
2)	⑥損傷度Ⅳの柱本数/	酒查柱本数	損傷度 IV の柱総	公数 本	調査柱 本(調査率 %)	
,			1. 10%以下	10%以下 2.10%~2		3. 20%超	6
	判定(2)		1.調査済		2.要注意	3.危険	判定(2)
			全部Aランク	かの場合	Bランクが 1 の場	合 Cランクが1以上又	
						はBランクが2以上	
	6険度の判定 別定(1)と判定(2)のうち大き	な方の危険	1.調査済み (要内観調査	E)	2.要注意	3.危険	判定
月	まで判定する アンドラ アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					ī	
3	落下危険物・転倒危障) 検物に関する	6危険度				-
		A ·	ランク		Bランク	Cランク	
①窓枠・窓ガラス 1.ほとんど無		無被害 2.歪み、		ひび割れ	3.落下の危険有り	1	
②外装材(モルタル・タイ ル・石貼り等)				的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剝離	2	
	外装材(ALC 板・PC 板 金属・ブロック等)	1.目地の亀着	没程度 	2.板に	隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊	3
④看板・機器類1.傾斜無し			2.わず	かな傾斜	3.落下の危険有り	4	
5) <u>F</u>	屋外階段	1.傾斜無し		2.わず	かな傾斜	3.明瞭な傾斜	5
⑥その他() 1.安全			2.要注:	意	3.危険	6	
fi	5険度の判定	1.調査済み		2.要注:	 意	3.危険	判定
		全部Aラ	ンクの場合	ВЭ	ンクが1以上ある場	C ランクが 1 以上ある場	

総合判定(調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。)

1. 調査済(緑)

2. 要注意 (黄)

3. 危険(赤)

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

※今回の訓練では、このRC造の調査票を使用してください。

【訓練用】記入例

集計欄は数字で記入

跃		コンフリート宣建					RC
整理番					0 時 調査回数回目		整理番号
調査者.		○○ 太郎					/
建築物	概要	鈴木 △△	(<u>静</u>	岡 / 111	1111)		建築物番号
1 3	建築物名称〇〇)小学校 南校舎	1. 1	建築物番号			V
2 3	建築物所在地 葵区○○町1-2 2.1 住宅地図整理番号						它地図整理番
3	建築物用途 1. 戸庭 7. 旅館 12. 倉				- 主宅 5. 店舗 6. 事務所 10. 保育所 11. 工場 6. その他()	3	13
4					ト造 3. ブロック造) と()		1 3 階
5 I	階 数 地上	3 階 地下	0 階			地下	0 階
6		 f法 約 ア <u>85</u> m:		6 m		ア	85 m
						1	16 m
周查	調査方法:(1.外観		調査も併せ			·	調査方法
1 -	一見して危険と判断され	1る。(該当する場合は○を作	_		·	7	2
1. 建	築物全体又は一部の崩壊	裏・落階		の著しい破壊、上部権	構造との著しいずれ 		
	築物全体又は一部の著し		4. その(也()	1	
2	隣接建築物・周辺地盤等	等及び構造躯体に関する危険 	渡			_	
Wildy		Aラン	′ク	Bランク	Cランク	_	判定(1)
版 (1)	①損傷度Ⅲ以上の損億	傷部材の有無 1.無し		2. あり		1	1
	②隣接建築物・周辺は ②よる危険	也盤の破壊に 1. 危険無し		2. 不明確	3. 危険有り	2	1
判		築物全体の沈 1.0.2m以下		2. 0.2m~1.0m	3. 1. Om超	3	1
	④不同沈下による建築 斜	築物全体の傾 1 1/60以下		2. 1/60~1/30	3. 1/30超	4	1
	柱の被害〔下記⑤⑥の調査階(被害最大の階) 1 階〕(壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる)						被害最大の降
定	⑤損傷度Vの柱本数	数/調査柱本数 損傷度Vの	主の総数_()_本 調査柱 <u>42</u> 本	(調査率 <u>60</u> %)	1	1
		1.) 1 %以下		2. 1 %~1 0 %	3. 10%超	5	1
(0)	⑥損傷度IVの柱本数	数/調査柱本数 損傷度IVの	主の総数_	0_本 調査柱 <u>42</u> 本	(調査率 <u>60</u> %)	1	1
(2)		1.)10%以	F	2. 10%~20%	3. 20%超	6	1
	判定(2)	1. 調査済 全部 A ラン	クの場合	2. 要注意 B ランクが 1 の ^は	3. 危険 易合		判定(2) <u>1</u>
L							判定
判定	度の判定 (1) と判定(2) のうち大き 判定する	きな方の危険 (要内観調:	查)	2. 要注意	3. 危険		1
3	落下危険物・転倒危険特	勿に関する危険度				_	
		Aランク		Bランク	Cランク		
①窓	枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2. 歪み、	ひび割れ	3. 落下の危険有り	1	1
②外	装材 湿式の場合	1.ほとんど無被害	2. 部分的	内なひび割れ、隙間	3. 顕著なひび割れ、剥離	2	1
3外	装材 乾式の場合	1. 目地の亀裂程度	2. 板に関		3. 顕著な目地ずれ、板破損	3	/
④看	板・機器類	1.傾斜無し	2. わずか	かな傾斜	3. 落下の危険有り	4	1
⑤屋:	外階段	1. 傾斜無し	2. わずか	かな傾斜	3. 明瞭な傾斜	5	1
⑥そ	の他()	1. 安全	2. 要注意		3. 危険	6	/
危	険度の判定	1.調査済み 全部 A ランクの場合	2. 要注意 Bランク	意 クが1以上ある場合	3. 危険 C ランクが 1 以上ある場合		判定 1
総合判第	定(調査の1で危険とキ	l 判定された場合は危険、それ	 .以外は調査	<u> </u>	L 方の危険度で判定する。)		
	調査済(緑)	2. 要注意(黄) 3.	危 険(🤊				1

コメント(構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。)

損傷は見当たらないため、避難所として開設可能です。

訓練用

《 地区支部》

応急危険度判定 SUNPUシステム連絡票

判定開始

判定開始日時 月 日 時

令和6年度修正

分

判定士名	参集日時			判定開始 (レ点を記入)	
	月	日	時	分	
	月	日	時	分	
	月	日	時	分	
	月	日	時	分	
	月	日	時	分	

【地区支部員用】SUNPUシステム入力の流れ(判定開始)

避難所管理機能 ログイン



避難所開設 操作



避難所開設 · 閉鎖

避難所を選択



建物の安全 確認欄更新



連絡票(判定開始)の 撮影画像を添付 訓練用

《 地区支部》

応急危険度判定 SUNPUシステム連絡票

判定結果

【判定士記入欄】

施設名称	棟名称	判定結果 (Oをつけてください。)	備考
		調査済・要注意・危険	

【地区支部員用】SUNPUシステム入力の流れ(判定結果)

避難所管理機能 ログイン



避難所開設 操作



避難所開設 · 閉鎖

避難所を選択



建物の安全 確認欄更新



連絡票(判定結果)の 撮影画像を添付